

「広島神楽」定期公演へようこそ！

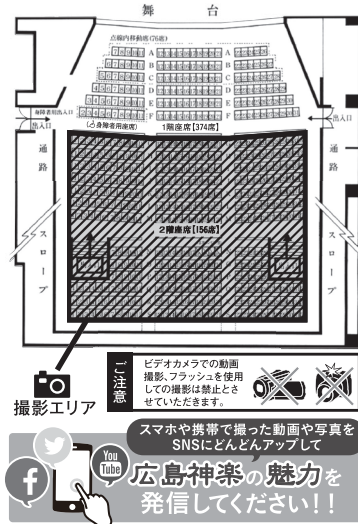
本日はご来場いただき、まことにありがとうございます。
当公演では、全てのお客様に気持ちよく神楽を鑑賞していただくため、下記のルールを設けています。
ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

- (1) 座席での**飲食は出来ません**。ロビーをご利用下さい。
- (2) 上演中の立ち歩きや大声での私語など**他のお客様のご迷惑になる行為**はご遠慮下さい。
- (3) お子様連れの方は、お子様が舞台の前に出られると、演出等で**危険な場合**がございます。**着席**での鑑賞をお願いします。
- (4) 撮影について
→写真撮影は右図の**撮影エリア**で行って下さい。
※ビデオカメラでの動画撮影、フラッシュの使用は禁止します。
(マスコミ関係など主催者の許可を得ている場合を除く)

以上です。どうぞ、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

撮影エリアについてのご案内

写真撮影をご希望の方は必ず、下記の撮影エリアをお願いいたします。



12月26日のタイムスケジュール

出演：山王神楽団（北広島町）

19:00～開演

19:05～第一幕『滝夜叉姫』

（およそ40分）

～幕間（休憩）～

20:00～第二幕『八岐大蛇』

（およそ40分）

20:45～記念撮影会

衣装やお面を実際に見ていただき、記念撮影をしていただけます。携帯電話での撮影も大歓迎です。
本日の記念に是非ご参加下さい。

また、神楽団との交流もしていただけます。疑問に思ったことなど、直接団員にお聞きください。
（舞台へは靴を脱いでお上がりください。）

※記載の時間は目安です。多少前後する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

さんおうかくらだん

山王神楽団プロフィール ～山県郡北広島町～

明治中期に地元、山末神社氏神祭に神楽を奉納するため、神社周辺の人々によって「下本地神楽団」として発足した当神楽団は、昭和25年、神社に奉られている「山王権現」から名を頂き「山王神楽団」となり、現在に至ります。近年においては、ロシア・サントペテルブルグ建都300周年に千代田混成神楽団の一体団として参加しました。また、日韓芸術交流公演で韓国のコリアンファンタジーとともに、国立劇場にて公演させていただいたり、県外の公演にも力をそそいでおります。

練習の都度、あるいは公演の都度「演技の粋をかたむけて」を目標に、今後も芸の修得に取り組み、伝承、保存に努めてまいります。ご支援、ご指導の程、宜しくお申し上げます。

第一幕『滝夜叉姫』（たきやしやひめ）

藤原秀郷（ふじわらのひでさと）、平貞盛（たいらのさだもり）に討たれ、平将門（たいらのまさかど）は無念を最期を迎えます。将門の娘・五月姫は、父の無念を晴らすため貴船の社に祈願し、満願の日、貴船の神から妖術を授かり名を滝夜叉姫と改めます。

下総の国に立ち返り、多数の手下を集め、朝廷に背き天下に災いをもたらすようになったため、大宅中将光圀（おおやのちゅうじょうみつくに）が勅命を奉じ、陰陽の秘術を使い、激しい戦いの末、見事、滝夜叉姫を征伐するという物語です。

【出演】

大太鼓・・・田坂 真吾	大宅中将光圀・・・井上 亮	滝夜叉姫・・・前 翔太
小太鼓・・・芳信 智也	山城光成・・・森岡 佑太	夜叉丸・・・森藤 大輝
手打鉦・・・藤井 英昌		蜘蛛丸・・・栗栖 隆治
笛・・・川本 喜美代		

第二幕『八岐大蛇』（やまたのおろち）

古事記の神話を神楽化したもので、昔、高天原を追われた須佐之男命が、出雲の国・簸の川上で嘆き悲しんでいる足名椎（爺）・手名椎（婆）の老いた夫婦と奇稲田姫（くしいなだひめ＝八人目の姫）に出会い、その訳を聞き、命は大蛇退治を決意します。

足名椎・手名椎に毒酒を造らせ、やがて現れた大蛇はその酒を飲み酔い伏して眠ってしまいます。命は酔い伏した大蛇を大格闘の末退治します。

この時、大蛇の尾から出てきた一降りの剣を、命は「天叢雲剣（あめのむらくものつるぎ）」と名付け天照大御神に捧げ、めでたく奇稲田姫を妻とするという物語です。

【出演】

大太鼓・・・中川 克也	須佐之男命・・・前 翔太	大 蛇・・・可能な限り出して頂きます
小太鼓・・・井上 亮	足名椎・・・藤井 英昌	
手打鉦・・・是角 健二	手名椎・・・山村 真理	
笛・・・川本 喜美代	奇稲田姫・・・伊藤 夏海	

※出演者は予告無く変更になる場合がございます。